

児童発達支援事業所



支援プログラム

～成長に大事な遊ぶ力。
遊び込める子に育てます～

社会福祉法人みんなの森福祉会では
「生きる力を育む保育」「共に育つ障害児」「親育ちの場」を理念とし
児童発達支援における「発達支援」「家族支援」「地域支援」の提供を5領域
に沿った支援を一人一人に合わせて個別支援計画を作成し支援を行って
いきます。

発達支援

愛着を土台にそのままの自分を認めていく

子ども一人ひとりの思いや、個々の特性に合わせた関わりをすることで安心して気持ちを出し、たくさん認めてもらえる経験から自己肯定感を育んでいきます。大人と一緒にたっぷり遊びこむことで充実感・達成感を味わえるようにお友だちと一緒に楽しい関わりを増やしていきます。

家族支援

保護者と一緒に子育てを

保護者の方へ子どもとの関わり方を伝えたり、一緒に考えたりしていくことで、成長を共に喜んだり子育ての悩みや相談に応じていきます。保護者同士で話し合いが出来る場を提供し、同じような子育ての悩みに共感したり、講習会で子育ての話が聞ける機会を保障していきます。

移行支援・地域支援

同年代の子どもとの仲間づくり

併行通園先との情報連携をしていしながら、子ども日にとって過ごしやすい環境や支援の共有を行っていきます。また、併設保育園との行事や活動等の交流を中心に、様々な経験をしながら同年代の子どもとの関わりの場を作っていきます。

職員の質の向上に資する取り組み

- 月に一度、文献を使って研修・事例検討
 - 感染症・虐待研修
 - 外部研修へ参加し、発達や支援について知識を得る
- など

事業所基本情報

- 営業時間:8:30～17:00(月～金) 土(隔月1回程度)
- サービス提供時間:9:00～14:30
- 送迎の実施:なし

健康・生活

生活リズムを大切に、睡眠・食事・排泄の確立を支援していきます。食育を通して旬の食材に触れ、食べる意欲を引き出します。日中の活動で十分に体を動かし、気持ちよく過ごすことで健康の維持と健やかな心身の発育を促していきます。

- 朝の会で一日の見通しを持つ
- 着替え
- 排泄
- 食育（クッキング、給食）
- など

運動・感覚

体幹を育み運動機能・筋力・バランス感覚の向上を目指します。四季を通じて様々な感触遊びを体験し五感を育てていきます。室内は素足で過ごし、外ではたくさん歩くことで足の裏の感覚を刺激し神経の発達を促します。机上遊びでは個々に合わせて、手先の運動をし、想像力・思考力を促すよう環境を整えています。

- 全身運動（散歩、園庭遊び、器具遊び、プールなど）
- 手先運動（はさみ、箸など）
- 感触遊び（絵の具、泡、泥んこ遊びなど）
- など

職員との安定した関係を土台に小集団の中で自己発揮でき、お友だちとの良好な関わり方を遊びを通して身につけていきます。

「楽しい」「面白い」「やってみたい」と思えるたくさん認められる「自分」を知を受け入れ心の土台を作っていきます

園外へ行き公共マナーやルール、安全について学んでいきます。

- ふれあい遊び
- ごっこ・ままごと遊び
- ルールのある集団遊び
- など

人間関係・社会性

活動を通して愛され経験をし相手と関わりの中

認知・行動

分かりやすい活動やたっぷり遊びこむことで、出来ること・好きなことが増えていきます。自分で意欲的に行動ができるようになり自信がついていきます。自分で遊びを選ぶ、散歩先を決める経験や、絵本の読み聞かせを存分にし、幼児期に育みたい考える力の芽を人の話す言葉で育てていきます。

- 製作（色、物の名前を知る）
- 昨日や今日などの時間（会の中で休日の出来事を発表する）
- など

言語・コミュニケーション

自分の事を話す場を設けて話す経験や、伝わる・聞いてもらえる経験を保障します。自己発信ができるよう、表出言語を増やしていきます。楽しい経験を通して関わり方を知りコミュニケーション力を育てていきます。指差し、ジェスチャー、文字でのやり取りなど個々に合わせた支援をしていきます。

- 挨拶
- 文字遊び（しりとり、かるたなど）
- 「ちょうだい」、「嫌だ」などの気持ちの表出
- など

主な行事

- 保護者懇談会
- 親子行事(クッキング、遠足など)
- 季節の行事(プール開き、節分会など)
- など